

答

①本市の状況や潜在力に重要なことと考えており、機会をとらえて実施できるよう努める。②パンフレットを作成する際に分かりやすく表記していききたい。③現在は必ずしも正確に反映されているとは言えない。今年度、駅周辺の観光案内板の整備を計画しており、JR熊谷駅と調整を図りながら進めていく。④熊谷駅に設置を予定している観光案内板等により周知していきたい。⑤聖天山を観光の中核施設と位置付け、地元商工団体等の意見も伺いながら検討していく。

（商業観光課）
○その他の質問項目
「行財政改革についてその三」
ほか



改修が進む歓喜院聖天堂の彫刻

熊谷の子どもたちの教育について

富岡 信吾 議員

問

本市における①校内暴力防止の取り組み②家庭教育学級等の推進③学校現場の負担軽減④学校経営方針⑤地域との連携⑥図書の実力⑦体力向上の充実について、それぞれ伺いたい

答

①一般社会で許されないことは学校でも許されないことを粘り強く指導している。②「親学講座」や「家庭教育学級」を実施している。③教育委員会からの各種調査の削減、給食補助員の配置等により軽減を図っている。④熊谷教育の指針と施策に基づき学校経営に当たるよう指導している。⑤校長が公民館や子ども会の行事等に参加し、地域と一体となった教育を推進している。⑥平成十八年に定めた「子ども読書活動推進計画」にしたがい、市立図書館や学校図書館との連携のもと、充実したものになっている。⑦体力向上目標値を設定させ、真に運動好きの児童生徒の育成に努めている。

○その他の質問項目
（学校教育課）

福祉行政について

「スポーツ環境の整備・スポーツ振興の取組について」

谷 幸代 議員

問

①認知症を原因として発生する悲惨な事件に對して、市はどのような防止策を考えているのか。また、②本市の認知症高齢者数とその対策③本市の認知症サポート数とその養成状況④キャリアバンメイトの人数について、それぞれ伺いたい。

答

①介護を家族だけで抱え込まず、さまざまなサービスを利用することで介護の負担を軽減し、家族を地域で孤立させない地域づくりが必要と考えている。②本年五月末現在で約三千百人である。昨年立ち上げた要援護高齢者支援ネットワークを活用し、認知症の早期発見とともに迅速かつ適切な支援を行っていききたい。③本年三月末現在、百九十三人のサポーターがいるが、今後も機会をとらえて養成講座の開催を支援していきたい。④本市では二人が登録されている。

○その他の質問項目
（長寿いきがい課）

「市民相談の中から」ほか コンパクトシティ 実現に向けて

加藤 恒男 議員

問

①観光協会を市から分離し、市内に観光案内所として開設する考えは②教育委員会が所管する事務のうち、スポーツ・生涯学習の事務を市長部局に移管させる考えは、それぞれ伺いたい。

答

①まちなかに観光協会との事務所を設置することは、観光事業に専念し、一層の情報発信や観光客の受け入れ態勢の充実を図ることができるとともに、賑わいの創出や活性化にも効果があると考えられる。しかし、運営主体や運営方法等について課題があるため、他市の先進事例も参考にしながら検討を重ねていく。②本年四月の法改正を受け検討したが、支障なく各種事業を推進している状況等もあり、当面現行のとおりと判断した。しかしながら、他のまちづくり事業と一体となった事業展開を図ることで相乗的な効果が期待できると考えられるので、引き続き検討していく。

（商業観光課）

荒川河川敷駐車場門の 開閉について

磯崎 修 議員

問

①この門の開閉はなぜ必要なのか②文化センター等の利用者の車があっても時刻になると閉鎖してしまうのか、それぞれ伺いたい。

答

①平成十年の台風により前橋市内の河川敷駐車場から車両が流出する事故が発生したため、国土交通省から河川敷を占有する各自治体に、駐車車両の流出防止対策について実施要請があった。このため、通勤者等、荒川緑地利用者以外の利用を規制するため実施している。②門の開閉時間は、荒川緑地の貸出時間にあわせ午前八時三十分



荒川河川敷駐車場門